

はじめに

札幌は今、超高齢社会、人口減少というかつて経験したことのない時代を迎えようとしています。そして、依然として厳しい経済・雇用情勢をはじめ、東日本大震災からの復興や原発事故発生後の社会のあり方など、将来への展望を描くことが難しい時代を迎えています。

私は、市民がまちづくりの主役として、さまざまな場を通じて対話を行い、自分たちのまちの課題を自分たちで解決するという市民自治の取り組みこそが、こうした困難な時代を切り開いていく力になるものと確信しています。そして、文化芸術が持つ創造性が市民の感性に刺激を与え、新たな価値観やライフスタイルを創出する、そのような創造都市に向けた取り組みが、新たな産業を生み出し、活力みなぎる街をつくっていくものと考えています。

この「第3次札幌新まちづくり計画」は、平成23年6月に公表した施政方針「さっぽろ元気ビジョン 第3ステージ」に掲げるまちづくりの基本的な方向を実現に移すためのプランとして、平成23年度から平成26年度までの4年間に重点的・優先的に推進すべき事業を盛り込んだものです。

計画の策定にあたっては、札幌市自治基本条例や子どもの最善の利益を実現するための権利条例の理念に則り、計画策定過程の各段階で内容を公表し意見募集を行ったほか、市民アンケートやまちづくりに関するシンポジウム、パブリックコメント、子どもを対象とした出前講座などを通して、市民の皆さんの意向を把握し、可能な限り計画に反映しました。

市政運営にあたり、私が最も大切にしていることは、市民と共に考え、共に悩み、共に行動することです。この計画に盛り込まれた個々の事業の実施にあたっては、積極的な情報提供を行いながら、市民・企業や町内会・NPOをはじめとするさまざまな団体の参加、支援、協力を得て計画を推進してまいります。そして、私が市長就任以来まちづくりの目標として掲げてきた「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」を、市民と共に築いてまいりたいと考えております。

平成23年12月

札幌市長 上田 文雄

